

## スタードームまどかに行こう 市民星空観望会



### 木星の見納め



長い間私たちを楽しませてくれた木星ですが、5月下旬以降は太陽に近付き、見えにくくなります。今のうちに縞模様やまわりの衛星たちの姿を観測しましょう。

- 日時 4月26日(土) 午後7時～8時50分
- 内容 ◇冬と春の星の観測◇惑星の観測



### 月の地形をみよう



まん丸まであと少しの月が、おとめ座と一緒に昇ってきます。デコボコしたクレーターや滑らかな海などの地形を望遠鏡で拡大して観測しましょう。

- 日時 5月10日(土) 午後7時～8時50分
- 内容 ◇冬と春の星の観測◇月、惑星の観測

### ●共通事項

※中学生以下は、保護者が同伴してください。  
※雨天曇天時は、室内おはなし会となります。

●会場 北コミュニティセンター スタードームまどか

### ●申し込みと問い合わせ先

北パートナーシップ活動支援センター（北コミュニティセンター内） ☎(513)0099

あけてみよう!

## 歴史のとびら

187



### 大野城心のふるさと館のおすすめ⑬

令和7年度大野城心のふるさと館 春季特別展「映画『もののけ姫』から学ぶ考古学」まもなく開幕! 『もののけ姫』には考古学の要素がいっぱい! 宮崎駿監督作品の映画『もののけ姫』は、多くの人が知っていることと思います。では、映画の中で考古学の要素がたくさん使われていることは知っていますか? 主人公のアシタカが使う刀は奈良時代の「藤手刀」、 「雅な椀」は縄文時代の漆塗椀がモデルと考えられます。また、ヒロインのサンが身につけるお面やアクセサリーは縄文時代の遺跡で見つかる資料と良く似ています。実はこうした考古学的資料の一部は大野城市の遺跡でも見つかっています。

【大野城市にもアシタカがいた?】 『もののけ姫』のあらすじは、アシタカがタタリ神から受けた呪いを解くために西へと旅をするというものです。アシタカは、東北地方の蝦夷の末裔という設定で、出身地を問われたアシタカが「東と北の間より」と答えるシーンがあります。

ところで、大野城心のふるさと館の調査研究の結果、古代の大野城市には

アシタカと同じように東北地方から西へとやってきた人たちがいたことが明らかになりつつあります。 【本特別展のみどころ】 『もののけ姫』の中に登場する器物を、遺跡で出土した実際の考古資料で紹介します。『もののけ姫』の世界観を体感することができるだけでなく、きつと考古学が好きなことになることでしょう。 特別展に関連して子ども向けワークショップや多数のギャラリートークなどを予定しています。面白いこと間違いなし! いえ、見ないと損した気分になるかも。今年のゴールデンウィークは、ぜひとも心のふるさと館へお越しください。



藤手刀:アシタカの刀 (奈良国立博物館所蔵、画像提供)



漆塗椀:アシタカの雅な椀 (九州国立博物館所蔵、画像提供)



土面:サンのお面 (大阪府教育委員会所蔵、大阪府文化財センター画像提供)

### 大野城心のふるさと館春季特別展 「映画『もののけ姫』から学ぶ考古学」

●会期 4月26日(土)～6月15日(日)

### ●問い合わせ先

心のふるさと館ミュージアム担当 ☎(555)85000